

⑥成功事例（「セールスアップ面」、「コストダウン面」、「プロフィットアップ面」のいずれかにおいて、成功した事例）

	日ノ丸西濃	埼玉西濃	西濃エクスプレス	S & N	朝日梱包
新たに 取組みした内容 (テーマ)	<ul style="list-style-type: none"> 山陰に拠点を持たない同業他社が抱える幹線／輸配送業務の受託 当社、空きスペースを活用したスモールロジ 	<ul style="list-style-type: none"> 既存荷主のシェアアップ (小口発送だけでなく、物流に関わるお困りごとに対しての提案) 	【運行経費の削減】 <ul style="list-style-type: none"> メガEXP便運行用車費の削減 積載効率の改善 KPI = 7, 800kg 前日までの受注を促進し、配車効率をupさせる (KPI = 前日までの受注率75%) 立ち寄り運行の活用 	【コストダウン面】 <ul style="list-style-type: none"> Time e等ギグワーカーの活用 Match boxによる自社専用臨時要員の確保 	<ul style="list-style-type: none"> 在庫管理の強化 スマホ無料アプリを使用 『zaico』
従来の手法と 課題	<ul style="list-style-type: none"> 同業他社の持つ協力会社により輸送をしていたものの、リードタイム・品質共に不安定であった 新たな製造ライン増設の為、スペースが必要となった拡張工事がすぐに出来ない 	【従来手法】 <ul style="list-style-type: none"> 小口メインの料金比較での営業 【課題】 <ul style="list-style-type: none"> 小口配送のイメージを持っているお客様へ貸切、保管、アッセンブリ等の認知度を高める 	<ul style="list-style-type: none"> 従前より行ってきた支払額の適正化や、高支払案件の改善に加え、立ち寄り運行するなど積載効率自体を上げるための新たな追加手法が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 従来は派遣会社を利用し臨時要員確保 【課題】 <ul style="list-style-type: none"> 年々の法改正による派遣会社への支払単価の上昇が利益圧迫 作業員が日替わりで配置されるため生産性の目標値が達成できず、作業時間超過や余分な作業員の投下へと繋がっていた 	<ul style="list-style-type: none"> 従来は作業指示書に記載の商品を保管場所から取出し出荷を行っているが商品の取り間違い・出荷指示数量より、過不足等が発生し、棚卸時に在庫の過不足が発生
お客様に提供 できたGain	<ul style="list-style-type: none"> SDでの定時配送(安定したリードタイム)と輸送品質の提供終息品の保管、入出庫業務をアウトソースしていただき、当社が窓口として行う 	<ul style="list-style-type: none"> 繁忙時期の保管場所に困っていたお客様へ保管+出荷作業+配送で提案 SDや営業社員による発送作業補助での作業時間の短縮 	<ul style="list-style-type: none"> 積載効率と前日までの受注率をupさせることで配車効率が上がリ、車両手配がしやすくなり、スポット的なオーダーにも柔軟に対応可能に 	<ul style="list-style-type: none"> Time eの活用により、派遣会社と比較して臨時要員費を17%削減 費用削減となったぶんはお客様への提示単価に廉価性を持たせることへ繋がる Match boxの活用により、生産性・品質面の高い作業員を専属で確保 必要な時に必要な人数を投入することで、日当たりの生産数や品質の担保となる →投入人数の削減へと繋がる 	<ul style="list-style-type: none"> 適正な在庫管理 データを入れて商品のQRコードが作成できる為、間違ったQRコードを読み込んだら間違いがわかる
効果・実績に ついて	<ul style="list-style-type: none"> 900千円/月 その他にも、同業他社が持つ山陰での輸配送案件の紹介200千円/月 保管に付随する調達・販売物流確保 	【当社】 <ul style="list-style-type: none"> 発送物量・収入増 【お客様】 <ul style="list-style-type: none"> 物流の手間の削減・商圏の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> メガEXP便関連の用車料の費用率は、直近で前年より▲2.6%改善、これによる実質改善寄与額は10,300千円 	<ul style="list-style-type: none"> 臨時要員費削減 Time e等581名 ▲1,166千円の削減 投入人数の削減、4名/日の削減(平常時65名の部門にて) 	<ul style="list-style-type: none"> 6月より1つの保管案件でパイロットテスト中の為効果実績なし
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 弊社が持つ、ネットワーク・品質(安全・リードタイム) お客様はスペース/人員確保を行わずに適時・適量の部材が確保が図れ、後工程の効率化に繋がった(ノーストレス物流) 	<ul style="list-style-type: none"> お客様毎に異なるお困りごとを聞き取り、それぞれに適した物流方法などを提案することで商圏確保や物流に費やす手間の削減に貢献 	<ul style="list-style-type: none"> 自社乗務員が前年より▲16名減員の中、ややもすると用車依存傾向になりがちなところ、幹線便の積載状況を可視化し、daily(SIC)で検証、低積載便の立ち寄り追加などの改善を継続的に実施 立ち寄りによる自社乗務員のインセンティブの見直しも実施 	<ul style="list-style-type: none"> 早期の募集によるTime eでの人数確保→費用削減 不足分は派遣に依頼することで必要人数の確実な確保 作業性の高い作業員はお気に入り登録→業務量の多い日等はお気に入り登録した作業員へ優先的に募集をかける 手放したくない作業員はMatch boxへ登録し、直接的に現場へ配置→基本使用料+手数料の為、多く使うほどコストメリットが出てくる 	<ul style="list-style-type: none"> スマホアプリを使用する事で、商品のQRコードを読み取る事で事務所内にもリアルタイムで情報の提供が出来るようになる事で、出荷ミス・適性な在庫管理が可能